

# たたら製鉄とは？

安来和鋼博物館  
安小5年一組  
大谷 竜世

挑  
自分  
自分で出来るか  
製鉄か  
目指せ  
玉鋼

## 百年ぶり復活

今年の六月二十五日に、雲南市吉田たなべたたら製鉄の里で行われたたたら製鉄の復活式に、お父さんと見学に行きました。ここでは、日本古来の鉄作りの技術で玉鋼を作り出してました。話を聞くと、たたら製鉄の歴史や産業についてさう味がわいてきたので調べてみました。そして、よくも玉鋼が作れるのではないかと感心したので、自分で、ミニたたら製鉄をやってみました。

たたら製鉄は400年以上前から行われていた。たたら製鉄は、古来から行われていた。たたら製鉄は、古来から行われていた。たたら製鉄は、古来から行われていた。



今日 たたら吹き作業 24時間作業  
砂鉄約450kg



木炭 565kg  
鉄穴流しの地は、農地に利用された。



できた！ 鋼120kg  
まるでマグマのよう...  
近づくだけで汗が出る熱さ！

この鋼を砕き、選りすぐった良質の玉鋼と、日本製の農機具などの材料を選び出した良質な鉄を玉鋼とい良質の日本製の農機具などの材料を選び出した良質な鉄を玉鋼とい良質の日本製の農機具などの材料を選び出した良質な鉄を玉鋼とい



砂鉄を含んだ山を崩し、水路を使って流し、重い砂鉄は底にたまる。

## 重労働

こんな大変な作業を繰り返して、多くの砂鉄を集めたのか？



たたら場の炉にた形の炉ができた。



ねん土をコネ、炉作り開始。



炉作りには、ねん土(粘土)を混ぜる必要がある。



ねん土をとるために、自分の山に行つた。



さびた砂鉄がとれた！



木炭を細かく砕いて、おいておく。



木炭と砂鉄を入れて、火花で熱する。



砂鉄50kg、木炭約60kgを5回に分けて投入した。



炉の中を見ると、鋼ができていた。



大きさは、100円玉と同じくらいだった。100円玉は4.8gで、できた鋼は3.1gだった。自分で鋼が作れた！

## 先人たちのSDGs

先人たちは、自然と上手に共存をしながら、山を見つめてよく分かっています。今もぼくらの住む森や山が豊かなのは、昔の人のおかげです。SDGsの目標1、貧困をなくそう、目標2、飢餓をゼロに、目標3、健康と長寿をこころえよう、目標4、質の高い教育をみんなに、目標5、ジェンダー平等を実現しよう、目標6、安全な水とトイレを世界中に、目標7、エネルギーをみんなにそしてクリーンに、目標8、働きがい、経済成長、目標9、産業とイノベーションに力をいかに、目標10、人や国の不平等をなくそう、目標11、持続可能な都市を創ろう、目標12、つるみかを大切にしよう、目標13、気候変動に具体的な対策を、目標14、海の豊かさを守ろう、目標15、陸の豊かさも守ろう、目標16、公正で平和な社会を築こう、目標17、パートナーシップで目標を達成しよう。

## TATARA スクープ

代わりばんこに「たたら製鉄」の話を聞くと、たたら製鉄の歴史や産業についてさう味がわいてきたので調べてみました。そして、よくも玉鋼が作れるのではないかと感心したので、自分で、ミニたたら製鉄をやってみました。

## 編集後記

たたら製鉄の歴史や産業についてさう味がわいてきたので調べてみました。そして、よくも玉鋼が作れるのではないかと感心したので、自分で、ミニたたら製鉄をやってみました。